



ぽんぽこ秋祭(11月12日)

今年度のぽんぽこ秋祭には 98 名の参加で、コロナ感染拡大防止対策をする中で、無事に終わることができました。

保育園の行事と地域の高校との連携を行ってきて今年で4年目となります。今年度も、西城紫水高校の神楽部と地域の愛好会の皆さんによる比婆荒神神楽を披露しました。黄と深緑の二匹の大蛇が白い煙を吐きながら登場し、迫力ある大蛇退治が披露されました。また、会場に福が訪れるように、大黒さんによる餅まきもあり、参加者全員が歓声をあげながら袋入りの餅をいただきました。中高連携の新しい取り組みの一つとして、東城中学校と東城高校の吹奏楽部による合同演奏では、子ども達に馴染みやすい数々の曲の演奏や指導者による分かりやすい楽器の説明等があり、皆で手拍子を打ちながら楽しく聴くことができました。今後もこのような中高連携の活動の場が充実するよう願っています。

秋祭で初めて披露したぽんぽこ山保育園の園児による子ども神楽では、ほほえましく観ることができ、子ども達もドキドキわくわくしながらの体験でした。最後に、法被姿の園児や保護者が中心となり、「森のカフェ」まで樽御輿行進を行い、今年も祭りの最後を彩ることができました。また、園で育てたサツマイモを使って、サポーターや農青連による焼き芋も準備され、自然保育での収穫の喜びを感じることができました。

これからも、地域の行事や伝統文化を継承し、地域の絆を深め、地域を愛する心の育成に取り組んでいきたいと思えます。参加してくださった方々やご支援ご協力してくださった方々、ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。



「田んぼちゃん」の稲刈り

10月28日の稲刈り作業は、農青連やサポーターも加わって行いました。鎌で一株ずつ刈り取りながら、作業を終えることができました。



「ぽんぽこ号」の運転

秋祭の際に披露しましたが、11月21日より、ぽんぽこ号が1台加わり、送迎車両が合わせて3台になりました。安全運転での送迎を気を付けています。



「森のカフェ」視察研修

11月19日に運営委員が呉市豊町久比の一般社団法人「まめな」に行き、これからの仕事と生活スタイルについて研修しました。特に、介護・農業・教育・テクノロジーの四つの軸でコミュニティ再生の実践を行っています。様々な事業について聴くことができ、心温まる人々にも会うことができました。

